

【オプトアウト文書】

診療情報の研究利用について（オプトアウトによる同意の確認）

長野市民病院では、以下の研究を実施いたします。本研究は、診療録に記録された既存の医療情報を用いる後方視的研究であり、患者さんに新たな負担や診療上の不利益が生じることはありません。研究への協力を希望されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。

【研究課題名】

当院におけるがん治療関連骨減少症（CTIBL）対策の実際
—閉経後乳がん患者の内分泌療法と骨粗鬆症予防治療の実態—

【研究の目的】

アロマターゼ阻害薬（AI 剤）を内服する閉経後乳がん患者における骨密度の変化、骨粗鬆症治療薬の併用状況、骨代謝マーカーの推移を明らかにし、ガイドラインに基づく CTIBL 対策の妥当性を検証します。併せて、治療介入の適切性や看護介入の標準化に資する知見を得ることを目的としています。

【研究の対象】

2023年4月1日～2024年3月31日に当院でアロマターゼ阻害薬の処方を受けた閉経後乳がん患者さん。

【使用する診療情報記録】

診療録に記録された以下の情報を使用します。

年齢、BMI、閉経状況、併存症

- ・乳がん病期、治療内容、AI 剤の種類・開始日
- ・骨密度（AI 剤開始前および約1年後）
- ・骨代謝マーカー（TRACP-5b、BAP など）
- ・骨粗鬆症治療薬の使用状況
- ・研究期間中の新規骨折の有無

これらの情報はすべて匿名化し、個人が特定されることはありません。

【個人情報の取り扱い】

取得した情報は匿名化したうえで解析し、研究成果は統計的に集計された形で公表します。個人が特定されることはありません。

【研究への協力を希望されない場合】

研究への利用を拒否される場合は、下記までお申し出ください。申し出があった場合、その方の情報は研究に使用しません。

【問い合わせ先】

長野市民病院 第2外来 がん相談支援センター

研究責任者：高池 和美

電話：026-295-1199 （病院代表）